

別紙1①

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表(建築等)

(監督員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マークを記入する。(*施工プロ)とは施工プロセスチェックでチェックされた項目である。

| 考查項目 | 細別 | a | b | c | d | e |
|--------|----------------------|---|--------------|------------|--------------|------------|
| 1.施工体制 | I.施工体制一般 | 施工体制が適切である | 施工体制がほぼ適切である | 他の事項に該当しない | 施工体制がやや不備である | 施工体制が不備である |
| | [評価対象項目] | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業分担と責任の範囲が施工体制台帳・施工体系図（下請契約の全てを記載）もしくは施工計画書で確認できる。（※施工プロ） ・ コリンス(CORINS)への登録申請（請負金額500万円以上）は、監督員の確認を受けた上で契約締結後10日以内に行われている。（※施工プロ） ・ 「建退共制度適用事業主工事現場」の標識を現場に提示すると共に、証紙購入が適切に行われ、配布が受払簿等により把握されている。（※施工プロ） ・ 施工体制台帳・施工体系図（下請契約の全てを記載）が整備され、施工体系図が現場に掲げられ、現場と一致している。（※施工プロ） ・ 「労災保険関係成立票」の標識を公衆の見やすい場所に掲示している。（※施工プロ） ・ 「建設業許可票」の標識が公衆の見やすい場所に掲示している。（※施工プロ） ・ 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 ・ その他 （理由） | | | | |
| | | <p>●判断基準 評価値が90%以上 ······ a 評価値が80%以上~90%未満 ··· b 評価値が60%以上~80%未満 ··· c 評価値が60%未満 ······ d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> | | | | |
| | | <p>評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち評価対象外の項目は削除する。□····· ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率で評価する。 ③ 評価するもの ○ 評価できないもの ×</p> <p>以下同様省略</p> <p>評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{○}{○} * 100 = \boxed{} \% \quad \boxed{} \text{ 評価値}$</p> | | | | |
| | II.配置技術者 (現場代理人等) | a | b | c | d | e |
| | [評価対象項目] | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場代理人として常駐し(兼任は常駐免除)、工事全体の把握ができている。（※施工プロ） ・ 現場代理人として、監督員との連絡調整については「連絡」を除き書面で行っている。（※施工プロ） ・ 現場代理人は、受注者の現場代理人への委任事項について適切に処理をしている。（約款第11条）（※施工プロ） ・ 作業主任者を選任し配置している。（※施工プロ） ・ 主任(監理)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。（※施工プロ） ・ 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。 ・ 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応している。 ・ 異常時、緊急時の対応・情報伝達・組織等が確立され、現場の見やすい場所に掲示している。 ・ 工事書類の簡素化の趣旨に則り、工事書類を適切に作成し提出又は提示している。 ・ 下請負人指導責任者を選任し、下請負人の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。（※施工プロ） ・ 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 ・ その他 （理由） | | | | |
| | | <p>●判断基準 評価値が90%以上 ······ a 評価値が80%以上~90%未満 ··· b 評価値が60%以上~80%未満 ··· c 評価値が60%未満 ······ d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> | | | | |
| | | <p>評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち評価対象外の項目は削除する。□····· ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率で評価する。 ③ 評価するもの ○ 評価できないもの ×</p> <p>以下同様省略</p> <p>評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{○}{○} * 100 = \boxed{} \% \quad \boxed{} \text{ 評価値}$</p> | | | | |
| | | <p>□ 現場代理人等の技術者配置が不備で、監督員から文書により改善指示を行った。</p> <p>□ 専門技術者が配置されていない。</p> <p>1項目でも該当あれば····d 2項目該当······e</p> | | | | |
| | | <p>※ 安全管理が適切でなく、事故を発生させた場合は、a評価はしない。 (安全管理が適切であったかどうかは、事故報告を受けた検査員が判断する。)</p> | | | | |

Ver.R0504

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表（建築等）

(監督員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マークを記入する。（※施工プロ）とは施工プロセスチェックでチェックされた項目である。

| 検査項目 | 細別 | a | b | c | d | e |
|--------|---------|---|--------------|--|-----------------------------|-------------|
| 2.施工状況 | I.施工管理 | 施工管理が適切である | 施工管理がほぼ適切である | 他の事項に該当しない | 施工管理がやや不備である | 施工管理が不備である |
| | | [評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> 約款第19条第1項(1)から(5)に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。（※施工プロ） 施工計画書と現場施工方法・現場施工体制等が一致している。（※施工プロ） 施工計画書の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。（※施工プロ） 日常の出来形管理が、施工計画書等に基づき、適時、的確に行われている。（※施工プロ） 日常の品質管理が、施工計画書等に基づき、適時、的確に行われている。（※施工プロ） 工事提出書類と提示書類がきちんと区別され、提出書類が簡潔で必要以上に作成されていない。（※施工プロ） 現場での整理整頓が日常的ななされている。 工事材料等の品質保証等が適切に整理されている。（※施工プロ） 工事材料を品質に影響ないように保管している。（※施工プロ） 立会確認の手続きが事前になされ、段階確認については書面で確認できる。（※施工プロ） 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。（※施工プロ） 工事全体で、使用機械・車両等で低騒音、低振動、排出ガス対策機械を使用している。（※施工プロ） 「施工プロセスチェック」で指摘事項がなかった。また指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 その他 （理由） | | <input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改善請求を行った。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事施工前に提出されていない。 <input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督員から文書により改善指示を行った。 | 1項目でも該当あれば・・・d 2項目該当・・・e | |
| | | ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が80%以上～90%未満・・・・b 評価値が60%以上～80%未満・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・d | | ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする $\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100 = \boxed{0} \%$ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-top: 10px;">評価値</div> | | |
| | II.工程管理 | a | b | c | d | e |
| | | 工程管理が適切である | 工程管理がほぼ適切である | 他の事項に該当しない | 工程管理がやや不備である | 工程管理が不備である |
| | | [評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。（※施工プロ） 現場設計内容の変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的にい円滑な工事進捗を行った。（※施工プロ） 時間制限や片側交互通行等の各種制約条件への対応が適切であり、大きな工程の遅れがない。 工事の進捗を早めるための取組み（材料、工法、作業工程などの見直し）を行っている。 施工計画書に基づき休日の確保を行うとともに、計画以外の時間外作業がほとんど無い。 「施工プロセスチェック」で指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 その他 （理由） | | <input type="checkbox"/> 受注者の責により工期内に工事を完成させなかった。 (但し、改善指示による場合を除く) 上記該当あれば・・・e | | |
| | | ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が80%以上～90%未満・・・・b 評価値が60%以上～80%未満・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・d | | $\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100 = \boxed{0} \%$ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-top: 10px;">評価値</div> | | 上記該当あれば・・・d |
| | | ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする | | | | |

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表（建築等）

(監督員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マークを記入する。（※施工プロ）とは施工プロセスチェックでチェックされた項目である。

| 検査項目 | 細別 | a | b | c | d | e |
|--------|----------|---|---------------|------------|---------------|-------------|
| 2.施工状況 | III.安全対策 | 安全対策を適切に行った | 安全対策をほぼ適切に行った | 他の事項に該当しない | 安全対策がやや不備であった | 安全対策が不備であった |
| | [評価対象項目] | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。（※施工プロ） ・ 安全教育・訓練等を月当たり半日以上適時、的確に実施し記録が整備されている。（※施工プロ） ・ 安全パトロール、安全ミーティング（KY）等を実施し記録が整備されている。（※施工プロ） ・ 店舗パトロールを1回／月以上実施し、記録が整備されている。（※施工プロ） ・ 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回／月以上活動し記録が整備されている。（※施工プロ） ・ 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者には正報告している。（※施工プロ） ・ 使用機械、車両等の点検整備等がなされ管理されている。（※施工プロ） ・ 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。（※施工プロ） ・ 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止措置が実施されている。（※施工プロ） ・ 仮設工（山留め・仮締切・足場・支保工等）の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。（※施工プロ） ・ 工事現場内・資機材置場・危険物置場の整理整頓がなされている。（※施工プロ） ・ 「施工プロセス」チェックで指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 ・ その他 （理由） | | | | |
| | | <p>●判断基準 評価値が90%以上 ····· a 評価値が80%以上～90%未満 ··· b 評価値が60%以上～80%未満 ··· c 評価値が60%未満 ····· d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> | | | | |
| | | $\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100 = \boxed{} \%$ <p style="text-align: center;">評価値</p> | | | | |
| | [評価対象項目] | <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係官公庁などと調整を行ない、トラブルの発生がない。（※施工プロ） ・ 地元との調整を行い、トラブルの発生がない。（※施工プロ） ・ 第三者からの苦情が無い。もしくは苦情に対して適切な対応を行っている。（※施工プロ） ・ 関連工事との調整を行い、円滑な進捗を取り組んでいる。（※施工プロ） ・ 工事の目的及び内容を工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 ・ 「施工プロセス」チェックで指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 ・ その他 （理由） | | | | |
| | | <p>●判断基準 評価値が90%以上 ····· a 評価値が80%以上～90%未満 ··· b 評価値が60%以上～80%未満 ··· c 評価値が60%未満 ····· d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> | | | | |
| | | $\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100 = \boxed{} \%$ <p style="text-align: center;">評価値</p> | | | | |
| | IV.对外関係 | a | b | c | d | e |
| | | 对外関係が適切であった | 对外関係がほぼ適切であった | 他の事項に該当しない | 对外関係がやや不備であった | 对外関係が不備であった |
| | [評価対象項目] | <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係官公庁などと調整を行ない、トラブルの発生がない。（※施工プロ） ・ 地元との調整を行い、トラブルの発生がない。（※施工プロ） ・ 第三者からの苦情が無い。もしくは苦情に対して適切な対応を行っている。（※施工プロ） ・ 関連工事との調整を行い、円滑な進捗を取り組んでいる。（※施工プロ） ・ 工事の目的及び内容を工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 ・ 「施工プロセス」チェックで指摘事項がなかった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 ・ その他 （理由） | | | | |
| | | <p>●判断基準 評価値が90%以上 ····· a 評価値が80%以上～90%未満 ··· b 評価値が60%以上～80%未満 ··· c 評価値が60%未満 ····· d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> | | | | |
| | | $\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100 = \boxed{} \%$ <p style="text-align: center;">評価値</p> | | | | |
| | | <p>□ 臨機の措置が不適切、または監督員の指示に従わなかったため、災害等の損害を受けた。 上記該当あれば····e</p> <p>□ 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であり、監督員から文書による指示を行った。 上記該当あれば····d</p> <p>※ 安全管理が適切でなく、事故を発生させた場合は、a評価はしない。 (安全管理が適切であったかどうかは、事故報告を受けた検査員が判断する。)</p> | | | | |

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表（建築等）

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マークを記入する。

(監督員)

| 検査項目 | 細別 | a 出来形が優れている | b 出来形が良好である | c 出来形が適切である | d 出来形がやや不適切である | e 出来形が不適切である |
|-------------|-------|--|----------------|----------------|---|--|
| 3.出来形及び出来ばえ | I.出来形 | 出来形が優れている <small>[評価対象項目]</small> <ul style="list-style-type: none"> 承諾図等が、設計図書を満足している。 施工図等が、設計図書を満足している。 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 出来形の管理方法を工夫している。 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、処分が適切である。 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 その他() <p>●判断基準 評価値が90%以上 ······ a 評価値が80%以上~90%未満 ··· b 評価値が60%以上~80%未満 ··· c 評価値が60%未満 ····· d ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> | 出来形が良好である | 出来形が適切である | <input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 該当すれば··· d | <input type="checkbox"/> 約款第18条に基づき監督員が改善請求を行った。 該当すれば··· e |

$$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100 = \boxed{\quad} \%$$

| |
|-----|
| 評価値 |
| |

Ver.K0504

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表（建築等）

(監督員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マークを記入する。

| 考查項目 | 細別 | 工種 | a 品質が優れている | b 品質が良好である | c 品質が適切である | d 品質がやや不適切である | e 品質が不適切である |
|-------------|-------|------|--|---------------|---|---|----------------|
| 3.出来形及び出来ばえ | II.品質 | 建築工事 | 品質が優れている | 品質が良好である | 品質が適切である | 品質がやや不適切である | 品質が不適切である |
| | | | <p>〔評価対象項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 ・ 品質確認記録の内容が、適切である。 ・ 施工の各段階における完了時の品質が適切である。 ・ 転体工事における施工の品質が、良好である。 ・ 内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。 ・ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ・ その他 () <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・a</p> <p>評価値が80%以上~90%未満・・・b</p> <p>評価値が60%以上~80%未満・・・c</p> <p>評価値が60%未満・・・d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> | | <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 該当すれば・・・d | <input type="checkbox"/> 約款第18条に基づき監督員が改造請求を行った。 該当すれば・・・e | |

$$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{0}{0} * 100 = \boxed{ } \%$$

| |
|-----|
| 評価値 |
| |

Ver.K0504

※1.目的物の品質の水準を評価すること

※2.品質の対象は「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより、技術的な評価を行う。

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表（建築等）

(監督員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マークを記入する。

| 考查項目 | 細別 | 工種 | a 品質が優れている | b 品質が良好である | c 品質が適切である | d 品質がやや不適切である | e 品質が不適切である |
|-------------|-------|--------|--|--|---|---|----------------|
| 3.出来形及び出来ばえ | II.品質 | 電気設備工事 | 品質が優れている <small>【評価対象項目】</small> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 ・ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が、適切である。 ・ 品質確認記録の内容が、適切である。 ・ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 ・ 機材及び施工の品質が、良好である。 ・ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ・ その他 () ●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上～90%未満・・・b 評価値が60%以上～80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d <small>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</small> | 品質が良好である <small>【評価対象項目】</small> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 ・ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が、適切である。 ・ 品質確認記録の内容が、適切である。 ・ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 ・ 機材及び施工の品質が、良好である。 ・ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ・ その他 () ●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上～90%未満・・・b 評価値が60%以上～80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d <small>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</small> | <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 評価すれば・・・d | <input type="checkbox"/> 約款第18条に基づき監督員が改造請求を行った。 評価すれば・・・e | |

$$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100 = \boxed{\quad} \%$$

| |
|-----|
| 評価値 |
|-----|

Ver.K0504

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表（建築等）

(監督員)

[記入方法] 該当する項目の「・」に、○×マークを記入する。

| 検査項目 | 細別 | 工種 | a 品質が優れている | b 品質が良好である | c 品質が適切である | d 品質がやや不適切である | e 品質が不適切である |
|-------------|-------|---------------------|--|----------------------|---|---|----------------|
| 3.出来形及び出来ばえ | II.品質 | 暖冷房衛生設備工事 機械設備工事 | 品質が優れている <small>【評価対象項目】</small> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 ・ 品質確認記録の内容が、適切である。 ・ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が、適切である。 ・ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 ・ 機材及び施工の品質が、良好である。 ・ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ・ その他 () ●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上~90%未満・・・b 評価値が60%以上~80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする | 品質が良好である 品質が適切である | 品質がやや不適切である <small>□ 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 該当すれば・・・d</small> | 品質が不適切である <small>□ 約款第18条に基づき監督員が改造請求を行った。 該当すれば・・・e</small> | |

$$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{O}{O} * 100 = \boxed{\quad} \%$$

| |
|-----|
| 評価値 |
|-----|

※1.機械設備工事とは、建設業法における機械器具設置工事をいう。（エレベーター、エスカレーター設備工事を除く。）

※2.目的物の品質の水準を評価すること

※3.品質の対象は「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより、技術的な評価を行う。

Ver.K0504

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表（建築等）

(監督員)

[記入方法] 創意工夫キーワードの該当する項目の「・」に、○マークを記入する。施工性、品質、安全性、作業環境、その他の□に□マークを記入する。

| 検査項目 | 細別 | 1創意工夫キーワード一覧表（創意工夫が多く見られるリスト） | 施工性 | 品質 | 安全性 | 作業環境 | その他（項目記載） | |
|--------|--------|---|---|-----------|-----|------|-----------|------|
| 5.創意工夫 | I.創意工夫 | <p>準備・後片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.測量・位置出しにおける工夫 2.現地調査方法の工夫 <p>施工</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.施工に伴う器具、工具、装置類の工夫 2.工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み 3.土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 4.建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 5.電気設備工事等の配線、配管等の工夫 6.暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫 7.照明・視界確保等の工夫 8.仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫 9.運搬車輛・施工機械等の工夫 10.型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 11.施工管理及び品質向上等の工夫 12.プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫 13.仮設施工等の工夫 14.既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 15.保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 16.作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 <p>品質</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.集計ソフト等の活用と工夫 2.躯体工事の品質管理の工夫 3.建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 4.施工の検査・試験に関する工夫 5.品質記録方法の工夫 <p>安全衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） 2.安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 3.現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫 4.酸欠・有毒ガス 可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 5.周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 6.改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 7.作業時における作業環境改善等の工夫 8.ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <p>施工管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.出来形の管理等に関する工夫 2.施工計画書または写真記録等に関する工夫 3.出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 4.CAD、施工管理ソフト等の活用 5.総合理化技術(※6)を活用した施工管理の工夫 <p>その他</p> <p><新技術活用> ※新技術活用は複数の技術の評価を可能とするが、加点は最大3点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.NETIS登録技術Made in 新潟新技術普及・活用制度等、国や地方自治体の新技術制度に登録された新技術を受注者からの提案により活用した。 <p><その他></p> 2.週休2日モデル工事を実施し、工事現場が週休2日（4週8休相当）を達成。（*本項目は2.5点とする。） 3.その他（ ） | □ | □ | □ | □ | □ | □() |
| | 記述評価 | 評点： 点 【□マークを付したキーワード項目について評価内容を記述】 | 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 1項目1点を目安とし、加点は+7点～0点の範囲とする。 該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 | 【創意工夫の詳細】 | | | | |

(採点指標)

※1 評価は受注者から提出された実施状況に関する書類を活用する。

※2 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※3 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、各項目により1, 2, 3点で最大7点の加点評価とする。

※4 上記の検査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的な内容を記載して加点する。なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

※5 □を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を【創意工夫の詳細欄】に記載する。

※6 施工合理化技術（プレハブ化、ユニット化、自動化施工（ICT施工、ロボット活用等）、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に貢献するものに限る。）を採用した場合。

※7 検査項目「創意工夫」の「準備・後片付け」から「安全衛生関係」までの4つの細別ごとに、施工合理化技術を活用して効果があった場合はに、その他及び【創意工夫の詳細】に具体的な内容を記載して加点する。

さらに、当該技術がNETIS登録技術やMade in 新潟新技術普及・活用制度等である場合は「その他」<新技術活用>の項目に追加で加点できるものとする。

Ver.KO504